

キンダーブック1 12月号



公園の池に大きな白鳥が泳いでいます。白鳥は北の寒い外国から冬に日本にやってくる渡り鳥です。冬の夜も冷たい池の水も、平気なようです。裏表紙では灰色のひなたちがお母さんの背中に乗っています。どんな話をしているのか想像してみましょう。



きれいに かたづけよう

ねらい 友だちと協力して片づけをしましょう。部屋がきれいになると気持ちがいいことを知らせます。



あらこ先生から片づけを促されたうさまらくんたち。「どこに片づければいいのか？」と問いかけてみましょう。おもちゃの棚のマークに気づけるとよいですね。

「いつも置いてある場所」を意識できるようにしましょう。早く片づけ終わったくまくんが、うさまらくんに声をかけたことに注目し、「みんなだったらどうする？」と問いかけていっしょに考えましょう。



「みんなで片づけるとすぐに終わるね」と声をかけ、「きれいになるとどんな気持ちかな？」と尋ねてみましょう。つけた物をもとの場所に戻しておくと、次につかうときにつかやすいことに気づかせましょう。



なにかから できているの？



ねらい 身のまわりのリサイクルマークを意識し、環境への関心をもたせます。

つかい方のポイント 「見たことのあるマークはあるかな？」と尋ね、リサイクルマークは、資源ごみを分別するとき役に立つことを伝えましょう。分けて捨てるのとまたつかえることを知り、物をたいせつにする気持ちを育てましょう。



おもちゃの おちゃかい



ねらい おもちゃが動いたり話したりする不思議な世界を楽しみましょう。

つかい方のポイント 「みんなのおもちゃもお茶会をしているのかな？」と問いかけてみましょう。どんな性格か、なんの話をしているのか想像して、意見を出し合っても楽しいですね。片づけの話題につなげてよいでしょう。

「キンダーブック1」を 保育にご活用ください！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
 「きれいに かたづけよう」	- 片づけの方法を知る。 - 協力すると早く終わることに気づく。 - 片づいた部屋が気持ちよいことに気づく。 - 家での片づけにも挑戦する。	- 片づけでは、もとの収納場所に戻すことを意識させる。収納場所にはマークや絵をつけてわかりやすくする。 「みんなで片づけると早く終わるね」「助け合うと気持ちがいいね」と伝え、協力することのたいせつさを伝える。 「手伝ってくれてありがとう」と伝えて達成感を感じさせる。 - 部屋が片づいていると、スムーズに次の活動ができることを伝える。 - 片づけができたなら「とてもじょうずだから、おうちでもしてみようね」と声をかけ、園での経験を家庭につなげる。	環境 人間関係 言葉
 「なにかから できているの？」	- リサイクルマークの存在を知る。 - 身のまわりのリサイクルマークを探す。 - ごみの分別やリサイクルについて知る。	- 写真を見ながらそれぞれのリサイクルマークについて説明し、「見たことあるかな？」などと尋ね、子どもの回答を引き出す。 - 身のまわりのリサイクルマークがついている物を探し、何にどんなマークがついているか気づかせる。 - 実際にいろいろな物を集め、子どもたちといっしょにリサイクルマークを見ながら分別する。 - リサイクルマークがついた物を分けて捨てる、またつかうことができ、地球環境を守ることにつながることを伝える。	環境 言葉